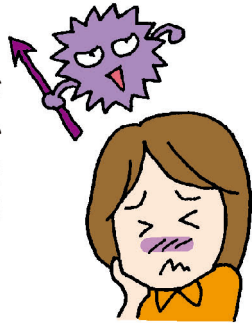


症状が進行してからの治療はつらい!!

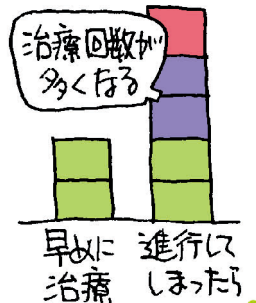
治療が痛くなる

むし歯などが進行して痛みが強くなっていると麻酔が効かず、痛みを耐えながら治療を受けなければならないことがあります。



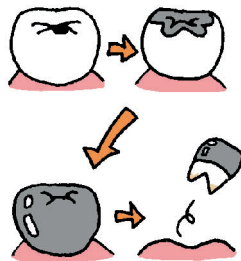
治療回数が増える

初期のむし歯や歯周病であれば数回の治療で終わりますが、むし歯が進行し神経にまで達して炎症を起こしたり、歯周病が進行していると、治療期間も長くなり通院回数も増えます。



歯を失う

歯の治療を繰り返して、その度に歯を削ると、歯はどんどん小さくなり最後は歯を残せなくなります。歯周病も重症化すると歯を支える骨がなくなり、歯を失うリスクが高くなります。



治療費用がかかる

悪化してから治療の場合、治療も複雑になり、通院回数が増えます。また、むし歯が進行し削る部分が多くなると、それを補うために大きな詰め物や被せ物が必要になり費用の負担も増えます。



やっぱり定期的な健診で早期発見・早期治療が一番!

入れ歯の大事な役割

入れ歯には様々な大事な役割があります。定期的なチェックや調整でよい状態を保ちましょう。

入れ歯の役割

噛む力の維持



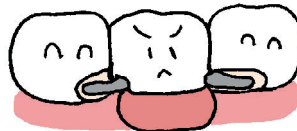
しっかり噛めることが胃腸の負担を減らし、脳の活性化につながる

身体のバランスを保つ



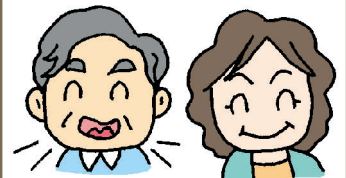
かみ合わせが安定することで、顎や全身のバランスが保たれ、転倒を防止したり姿勢もよくなる

残っている歯の保護



残っている歯が移動したり傾いたりして、かみ合わせが悪くなることを防ぐ

発音や表情を良くする



歯が抜けたままだと発音しづらい音もはっきり発音でき、表情も豊かになる

入れ歯も定期的なチェックが大事!

ぴたっと合っていた入れ歯も、年月の経過と共にお口の中の状態が変化すると、合わなくなってしまいます。合わない入れ歯を使っていると、口内炎や歯ぐきに傷ができ痛みを生じたり、汚れがたまりやすくなったり、残っている歯を悪くしてしまう事もあります。

入れ歯と残っている歯を長持ちさせるためにも定期的なチェックとお手入れは大事です。

